



新刊情報&図書館からのお知らせ

品川キャンパス図書館発行
2010年度 NO.4
毎週水曜日発行「さめず Express」
2010年9・10月分ダイジェスト版



新刊紹介&おすすめ本

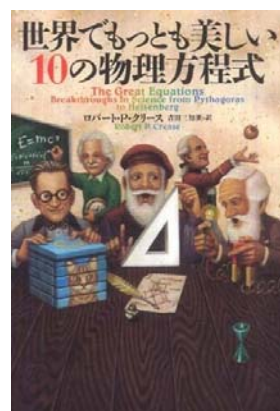


『Mad Science』

「炎と煙と轟音の科学実験54」と謳われているように、見るからに楽しそうな1冊です。発行はオライリージャパン、そして著者は「Mathematica」を開発・販売している会社の役員だそうですから驚きです。

『トコトンやさしい暗号の本』

人気シリーズの、今春刊行された1冊です。なんと、この本だけのブログとツイッターが存在して、質問や誤字の指摘を受付けてくれています。「これまで以上に ISEC や SCIS が楽しめるようになると思います！」そうですよ。



『世界でもっとも美しい10の物理方程式』

日経BP社の『世界でもっとも美しい10の科学実験』のシリーズ最新刊です。いっそう読みやすくなった文章で、ニュートンやアインシュタインら天才達の間味溢れた側面も紹介しています。難しい数式は書かれていませんので、読み物としてどうぞ。

『先生、カエルが脱皮してその皮を食べています!』

2007年から刊行され、人気シリーズとなった「鳥取環境大学」の人間動物行動学、4冊目です。シリーズおなじみの、大学ヤギ部のヤギですが、「ペガサスのように柵を飛び越えて逃げ出す」新米ヤギが入ったらしいですよ。



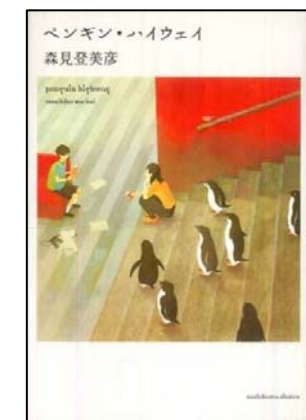
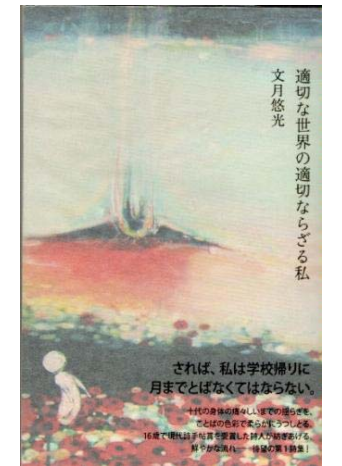
『ノーベル賞の科学』【化学賞編】

～なぜ彼らはノーベル賞を取れたのか～

先週は、日本人の受賞が大きな話題でした。このシリーズは、物理学賞編と生理学医学賞編も既に購入されています。参考文献なども掲載されていますので、興味をもった研究があれば、さらに調べることもできます。

『適切な世界の適切ならざる私』 文月悠光 著

第15回中原中也賞を最年少で受賞した詩集です。2008年当時、札幌の現役高校生として「現代詩手帳賞」を受賞して話題になりました。高校の美術部部长でもあった彼女、表紙も、文章も、あわい色彩感覚が秀逸です。



『ペンギン・ハイウェイ』 森見登美彦 著

主人公は小学4年生の男の子。街にアデリー・ペンギンの群れが現れて、不思議なお姉さんに会ったことから、彼の冒険と研究が始まる・・・。

「夜は短し歩けよ乙女」とはちょっと違う、森見ワールドです。

教科書・参考書コーナーができました

シラバスに「教科書・副読本」として紹介されている図書を集めたコーナーを新設しました！場所はカウンターに向かって右手、経営塾コーナーの裏側です。翌日までの貸出が可能です。どうぞご利用ください！

